



心の足跡



道徳教育だより
 令和5年2月1日
 第8号
 飯能市立原市場中学校
 発行: 学校長、道徳部会

3学期人権教育アンケートの結果について考える

1月に人権教育アンケートを実施しました。この中の何点かの質問についての結果を紹介します。

質問1 あなたは、人権問題についてどのように考えますか？（数字は%です）

	1年生	2年生	3年生
すべての人に関わる大切な問題である	86	100	90
一部の関係ある人の問題である	0	0	0
自分とはかわりがない問題である	0	0	0
わからない	14	0	10

質問1については、以上のような結果となりました。学校全体の90%以上の生徒が、人権問題については、「すべての人に関わる大切な問題である。」と答えてくれました。

質問4 人権問題が起らないようにするためには、あなたはどうしたら良いと思いますか？

（数字は人数です。複数回答です。）

	1年生	2年生	3年生
正しい知識を学びたい	17	19	31
かたよった考え方に振り回されないようにする	17	15	33
いつも「自分がつらい思いをしたらどうなるのか」を考えながら相手と接する	16	14	26
見て見ぬふりをする	1	0	1
「どうせいつかは解決するだろう」と思い、何もしない	2	1	1
差別をなくすために自分はどこから始められるのかを考えて行動する	11	10	18
相談に乗ってあげる	22	13	25
辛い思いをしている人にもどこか直す原因があると思うのでその点も相手に話す	9	3	11
相手の良い点を見つける	15	12	18

質問4については、以上のような結果となりました。「正しい知識を学びたい」「かたよった考え方に振り回されないようにしたい」と考えている生徒が多いことが分かりました。また、「相談に乗ってあげる」「相手の良い点を見つける」等相手に寄り添う考えを持っている生徒が多いことも分かりました。

私は、飯能市人権教育推進協議会の会長を2年間務めさせていただきました。その間、色々な行政センターで人権についての研修会の講師も努めさせていただきました。ある研修会后に、高齢の男性が、「先生、私の身の周りには、いわゆる部落とか同和問題とかそんな話は聞いたこともないし、たくさんいる友人からもそんな話は聞いたこともありません。もう同和問題は解決したのではないですか？」と質問されました。私は、「そんなことはありません。たまたまあなたの周りには見たり聞いたりしたことがなくても、これはとても深刻な、そして根深い問題として存在しています。たとえば・・・」と私の身の周りで起きた差別について話をさせていただきました。するとその方はびっくりした様子でしたが、「分かりました。たまたま、私の身の周りに起きていないだけだったんですね。『知らない』と言うのは本当に恐ろしいですね。私も勉強します。本日はありがとうございました。」と笑顔で答えてくれた姿がとても印象的でした。「正しい知識を学ぶ」とても大切なことです。

1年生の実践<教材名>「ゴミ箱をもっと増やして」(東京書籍 新しい道徳1)

(内容項目C-10 社会参画 公共の精神)

- ・私は必要最低限のルールはあったほうがいいと思います。厳しすぎてしまうと、守れない人が出てきてしまうし、何もないとめっちゃくちゃになってしまうかもしれないからです。
- ・みんなが気持ちよく過ごすためには、少しはルールが必要だが、余計なルールもその時に作られるので、やっぱり気持ち良く過ごすのは無理なのではないか、と思います。
- ・どんなルールやゴミ箱があったとしても、最終的には自分自身が環境を大切に思うかどうかだから、ゴミ箱があってもなくても、「ゴミはポイ捨てせずに正しいところに捨てる」と言うことは守っていきたいと思う。
- ・ポイ捨てをした人もされた人も、ごみの分別をする人もしない人もやっぱり色々な人たちが気持ちよく過ごせるのは心がけだなと思いました。一人一人の心がけできれいになって気分も良くなると思いながら日々の生活をしていきたいです。
- ・みんながルールを守るのが大事だと思います。みんなが互いの気持ちを思いやって気持ちよく過ごせたらいい。

2年生の実践<教材名>「本当の私」(東京書籍 新しい道徳2)(内容項目D-22 よりよく生きる喜び)

- ・人間の弱さも強さだと思えばいいと思いました。自分の弱いところを認めることができることが強さだと思うので、自分の弱いところを認めていきたいなと思いました。
- ・人間には弱い部分、強い部分がある。それを踏まえ、自分が思う強い人間は弱い部分を見せられる人だと思う。これからは、強い部分、弱い部分両方を発信し、互いに共感しあえるようにしていきたい。
- ・自分を弱い、もしくは強いと思っても、考えることをやめないことがすべてを克服することにつながると思う。それにより弱さを克服できるかもしれないし、強さにも抜けた部分を見つけることができるかもしれない。それをできる人が「強い人」だと思う。
- ・弱さを強さに変えるには仲間を信頼し合うことが大切だと思う。仲間を信頼し合うことができれば、うそをつかずにすみ、うそと言う弱さをまず、一つ克服できると感じたから。

3年生の実践<教材名>「いじめるつもりはなかったけど・・・」(出典：NHK for school)

(内容項目B-7 礼儀)

- ・Lineやメッセージを送ることは簡単にできるけれど、送った内容で相手を傷つけてしまうことがあるので、送る前に、送って大丈夫かしっかりと確認する必要があると思いました。Lineやメッセージなどでのトラブルは、お互いに相手のことを思いやってやり取りを行うことで対処できると思いました。
- ・文章を見たら少しその文の意味を考えたり、そもそも悪口を書かないようにすればよいと思った。自分的には、いじめるつもりはなかったと思っても、相手からはそう思われて最終的に大変なことになると思った。私はスマホを持ってなくて、Lineはしたことはないけれど、使うようになったら気を付けようと思った。
- ・インターネットでは、普段口では言えないことも書き込みやすくなってしまっているので、送信する前に必ず見返しをし、誤字脱字なども含めて完璧な文面を心掛けることが大切だと思います。そして対面での会話では、常に自分をもう1人の自分として客観視するのが良いと思います。そうすることで、自分の性格や言葉遣いも改善され、一石二鳥だと考えます。まだ私はそれを完璧には習得できていませんが、困ったときは笑顔。そう自分に言い聞かせています。
- ・会話を人とするときは、しっかりと言葉選びをして相手がどういう発言をしてしまったら、嫌な気持ちになってしまうのかを常に考えながら話している相手を思いやることがいじめにつながらないことだと思います。

やまなみ学級の実践

2023 私の決意 <卒業に向けて・進級に向けて>

- ・落ち着いて行動する
- ・家でも勉強できるようにしたい
- ・話をもっと聞けるようにしたい
- ・1日1日を大切に
- ・働くことを頑張りたい。挨拶をしっかりする
- ・1日を大切に過ごす
- ・笑顔でできるように